

# 声にだして読もう！宗祖親鸞のことばを！

先月から、正信偈の言葉を声に出して読みました。もとの言葉は漢文ですから、読み下しても意味はなかなか難しいです。でも、漢字の意訳の文章と合わせて、読んで頂きたいものです。(読み下しは、先月号の続きです)

信しんを獲うれば見みて敬うやまい大おおきに慶きょうき喜きせん  
 すなわち横おうに五ご悪あく趣しゆを超ちよう截せつす  
 一切いっさい善ぜん悪あくの凡ほん夫ぶ人にん  
 如に来よの弘く誓ぜい願がんを聞もん信しんすれば  
 佛ぶつ、広こう大だい勝しょう解げの者ものとの言のえり  
 こひとの人ふんを分だ陀り利け華なと名なづく

(原文) 獲信見敬大慶喜

即横超截五悪趣

一切善悪凡夫人

聞信如来弘誓願

佛言広大勝解者

是人名分陀利華

「信を獲て」とは、自分中心のあり方が教えられ、阿弥陀佛の願いに生きる歩みを頂くことです。そのことが「見て敬う」生活が始まるのです。

聖徳太子が十七条憲法でおっしゃった、「篤く三宝を敬え」の三宝とは佛・法・僧です。佛とはお釈迦さまです。法とはお釈迦さまが明かにして下さった教えです。その教えを聞く私達のことを僧といます。

お釈迦さまは、「法を聞きてよく忘れず、見て敬い大きに喜べば、すなわちよき親友なり」と、おっしゃいました。

「五悪趣」とは、五つの迷いです。地獄(どこかにあるわけではありません。自分がつく世界です) 餓鬼(欲に欲を重ねる姿です) 畜生(本能のままに生きる姿) 人間(自己中心の姿) 天上(ひとりよりがりでいい気になる姿)

私の日常生活は五つの迷いの生活です。この行きつどもどりの流転の世界を「横に超截す」を、親鸞聖人は、「横はよこさまという、超はこえてという。生死の大海をやすく横さまに超え、これ以上の救いを超えるのだ」と教えて下さっている。

念佛者の生活は積み上げてから救われるのではなく、横さまに超えて佛と共に歩むところにあります。

この私達凡夫に開かれた教えが「如来の弘誓願を聞信」するみちであります。「真宗の教えは、一生の間法であると言われています。

本願のいわれをたずねて、わが身の姿を聞くのです。一人静かに眠るときにも名譽・地位・財産にうつつをぬかし、目を開けては人の善悪を論じている自分自身の独断と偏見の無知を、聞きぬくのです。

その人を「佛、広大勝解の者と言えり」と、讃えられているのです。

また、分陀利華(白蓮華)とたたえられるのです。念佛者を讃える SYMBOL FLOWERです。

## コース会員 (募集)

毎月一回 (第三火曜日)

(午後一時半～三時半)

が練習日です。

どなたでも、お気軽にご参加ください。

楽譜(教材)は用意しています。

参加費 (一人・五百円)